

## ちくしのクリップ

10/27

## 体得した消火技術を発揮

## 第30回屋内消火栓操法大会

筑紫野太宰府消防本部主催の屋内消火栓操法大会がカミーリヤで開催されました。この大会は、事業所の屋内消火栓設備を迅速・的確に活用できるように各事業所のチームが訓練を重ね、その成果を披露するもので、30回の節目となった今回は13事業所が参加しました。

女子の部で優勝を果たした福岡大学筑紫病院チームは「万が一のときに患者さんの命を守れるように、今後も消火技術を上げたいです」と話してくれました。



火点(標的)を狙って放水する福岡大学筑紫病院チーム

10/17

## 子どもたちの健全育成のために

## 筑紫法人会が市内5中学校に図書を贈呈

税知識の向上などを目的に活動する筑紫法人会から市内5中学校に図書の寄贈があり、この日、贈呈式が行われました。これは地域社会貢献として行っているもので、5中学校合わせて192冊の寄贈がありました。

生徒を代表してお礼のあいさつをした筑紫野中学校の奥野 萌衣さんは「これを機会に本を読む中学生を増やし、その後の生活や勉強に生かせるような取り組みを行いたいです」と話していました。



各中学校の生徒会長が代表して図書目録を受け取りました

10/30

## ガスで地域に貢献する

## 筑紫ガスが平成30年7月豪雨への支援金を寄付

市内紫の筑紫ガス株式会社が9月22日(土)にカミーリヤで開催した「ふれあいガスまつり」で、平成30年7月豪雨による被害の復旧のための募金を募り、この日、物販の収益の一部と併せて、支援金として寄付していただきました。

筑紫ガスの前田専務は「地域あつてのガス供給。連携を大事にして、一緒に筑紫野市を盛り上げていけたら」と話していました。



藤田市長(左)に支援金を手渡す筑紫ガスの前田専務(中央)

10/20

萩原の素晴らしい財産を  
伝えていきたい

## 萩原区文化講演会

市内萩原の扇祇神社の絵馬について太宰府の絵師調査事業の一環として調査が行われ、地元で貴重なものがあることを知ってもらおうと萩原公民館で結果が報告されました。区の皆さんなど約70人が参加しました。

絵馬は、江戸時代の絵師・齋藤 秋圃(しゅうほ)の三男、齋藤 梅圃(ばいほ)によるもので、梅圃の絵馬は数が少なく、扇祇神社のものは希少価値があるそうです。講師の井形栄子さんは「絵馬には地域の美術館としての役割があった。お参りの際には探してみてもいい」と話していました。



絵馬の歴史と齋藤 梅圃について話す井形さん